

| | | | |
|-------|---|------|--|
| 区分・種別 | 重要文化財(石造美術) | | |
| 名称 | おおやまづみじんじゃほうきょういんとう 大山祇神社宝篋印塔 3基 | | |
| 所在地 | 今治市大三島町宮浦 | | |
| 所有者 | 大山祇神社 | 管理団体 | |
| 指定年月日 | 昭和27年11月22日 | | |
| 解説 | <p>大山祇神社の境内に、一遍上人<small>いっぺんしょうにん</small>由縁と伝えられる宝篋印塔が3基並んでいる。いずれも花崗岩製で中央のものが一番大きく、蓮弁<small>れんぺん</small>を基礎下と上2段に備え合わせて3段にした入念な造りである。また相輪上部<small>そうりん</small>の請花<small>うけばな</small>は逆にたれさがり特異な形をとっている。総高394cm余りである。</p> <p>両側の2基は、中央のものよりやや小形であり、左端のものは3基の中で最も簡素な造りであるが、いずれも極めてよく均整のとれた容姿で、様式、技法すべてが鎌倉時代の特色を備えている。</p> | | |

